

伊豆半島道路ネットワーク会議の成果（アウトプット）について

1 概要

伊豆半島道路ネットワーク会議設立の目的は「伊豆地域の持続的な発展に向け、伊豆縦貫自動車道を背骨として、肋骨となる国県道、幹線市町道を含む地域全体の道路網のあるべき姿を検討し、短期、中長期を見据えた実施計画を策定する」ことにあります。

具体的な会議の成果としては、これまでに開催された2回の伊豆半島道路ネットワーク会議において、以下に示す2種類の成果（アウトプット）を策定していく方針を確認しています。

2 成果（アウトプット）

① 伊豆半島道路ネットワークの利活用による地域活性化プロジェクトマップ（案）

資料 3

- ・プロジェクトマップは、概ね短中期（10年程度まで）で実施、又は実施を予定している道路整備事業と官民の地域活性化の取組等を1枚の地図に記載するものです。
- ・伊豆縦貫自動車道を基軸とする伊豆地域の道路網整備のストック効果を示す資料として活用することを想定しています。
- ・道路整備事業としては、県及び市町が、国が整備を進める伊豆縦貫自動車道とともに地域の道路ネットワークを形成する道路の整備に取り組んでいる状況を記載します。
- ・官民の地域活性化の取組等としては、観光、まちづくり、産業振興の視点から地域活性化に資する様々な事業や取組を記載します。

② 伊豆半島の道路網整備実施計画（イメージ）

資料 4

- ・伊豆半島道路ネットワーク会議の趣旨に沿って策定する『実施計画』です。
- ・短期（東京五輪時点）、中期（10年後：平成30年代後半）、長期（20年後：平成40年代後半）の各年代における道路網のあるべき姿を示すとともに、各年代で実施する主要な事業を位置付ける予定です。